

特集「1万円で何をかう？」

図書館おなじみのイベント「選書ツアー」の参加者の予算は一人当たり約1万円。実際にはどんな本をえらんでいるのかな？  
(2016年冬に行われた「選書ツアー」で選ばれた本です。)

BOOK HUNTER LINEUP!



今人気の作家の小説2冊。  
『サーカスの夜に』(小川糸著)と  
『火星に住むつもりかい?』  
(伊坂幸太郎著)

『陽だまりの天使たち』は  
「大好きには涙なくしては  
読めない」と「ブクログ」の  
レビューにあり。

選書例①: 学生Aさんの場合。

選んだのはこの8冊。

日本語への興味  
をそそる2冊。

BOOK HUNTER LINEUP!



図書館の本泥棒の「意外にも」ミステリー。本当にあった話。  
「読んだ本の内容を記憶せよ」がポイント。

選書例②: 学生Bさんの場合。

13冊、計11561円なり。



ノンストップアクション！  
キャラがよく立っている。

質屋の「もの」に宿る記憶。  
連作ミステリー。

この3冊は就職活動にも役に立ちそう...

マーケットの基本がわかる。

ブックレビューを読んでみよう

「この本ってどんな内容？面白いのかなー」と思ったら、ネットでブックレビュー(書評)をみてみましょう。色々な読者が自分の観点から書いているので、同じ本でも評価が分かれる場合もありますが、それだけに生の声が聞ける面白さも。図書館HP内の「ブクログ」もブック・レビューを本のタイトルから検索することができます。(このページの本についてのコメントも「ブクログ」のブックレビューを参考にしています。)

このマーク！



ブックレビューが見られる色々なサイト:

読書メーター(読書ブログ、読者投稿。)  
Hon-café(くちこみ読者カフェ・読者投稿)

ブックナビ(『書評サイトのリンク集あり) おいしい本箱(児童文学限定)  
Book asahi.com(朝日新聞の書評。)